

保健福祉局

一般会計要求総額	155,194 百万円 (対前年度 +4.1%)
特別会計要求総額	229,998 百万円 (対前年度 +4.3%)
病院事業会計	873 百万円 (対前年度 +3.2%)
	(病院事業会計単年度実質収支 +242 千円)

【令和2年度 予算要求の経営方針】

令和2年度は、「地域包括ケアシステム」の構築に向けた取組を推進するとともに、北九州市SDGs未来都市計画との関連性を踏まえながら、「北九州市地域福祉計画」などの次期計画づくりに取り組みます。また、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施への対応や人と動物の共生社会を推進するための取組などを着実に進めていきます。

【令和2年度 予算要求の基本的な考え方】

⑨：新規事業、⑩：拡充事業

1 地域福祉・高齢者福祉の推進

市民が地域において安全・安心に住み続けられる仕組みづくりを目指し、地域福祉や高齢者福祉に係る次期計画の策定に取り組むとともに、成年後見制度の利用促進や外国人介護人材の育成、終活支援など、新たな課題やニーズに対応していく。

<主な事業>

- 介護ロボット等開発・導入実証事業
 - ⑩外国人介護人材育成支援事業
 - ⑨成年後見制度利用促進中核機関設置運営事業
 - ⑨終活支援事業
- など

2 障害福祉の推進

障害のある人や子どもの地域生活を支援するための体制整備に向けた次期計画の策定を行う。また、発達障害児の早期支援に向けた研究や医療的ケア児の看護・介護を行う家族支援など、障害の有無に関わらず、安心して暮らすことのできる地域社会の実現に向けた施策を推進します。

<主な事業>

- 発達障害児早期支援システム研究事業
 - ⑩医療的ケア児在宅レスパイト事業
 - ⑩ひきこもり地域支援センター事業
 - ⑩障害者就労施設等製品魅力アップ推進事業
- など

3 健康の維持・向上と地域医療の充実

「第二次北九州市健康づくり推進プラン」等に基づき、健康（幸）寿命の延伸に向け、高血圧対策や各種検診の受診率向上に向けた施策などに取り組む。また、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施や若年者の在宅ターミナルケア支援など、健康・医療を支える社会環境の整備を進める。

<主な事業>

- ⑩健康（幸）寿命プラス2歳の推進
 - ⑩「高血圧ゼロのまち」モデルタウン事業
 - ⑩各種検診のワンコインモデル事業
 - ⑩後期高齢者のデータヘルスの推進
 - ⑩若年者の在宅ターミナルケア支援事業
- など

4 保健・衛生管理体制の充実

市民の健康と安全を守り、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、感染症対策や動物愛護など、保健・衛生管理体制の更なる充実に取り組む。

<主な事業>

- ⑩定期予防接種事業
 - ⑩レジオネラ症発生防止対策に係る水質検査機器導入
 - ⑩人と動物の共生社会推進事業
- など

◆◆◆主な特別会計◆◆◆

国民健康保険特別会計	(予算要求額 101,690 百万円)
介護保険特別会計	(予算要求額 107,414 百万円)
後期高齢者医療特別会計	(予算要求額 16,985 百万円)
市立病院機構病院事業債管理特別会計	(予算要求額 3,568 百万円)



北九州市健康イメージキャラクター
「スマッキー」

※公開時点での予算要求の内容であり、令和2年度に実施することが確定しているものではありません。